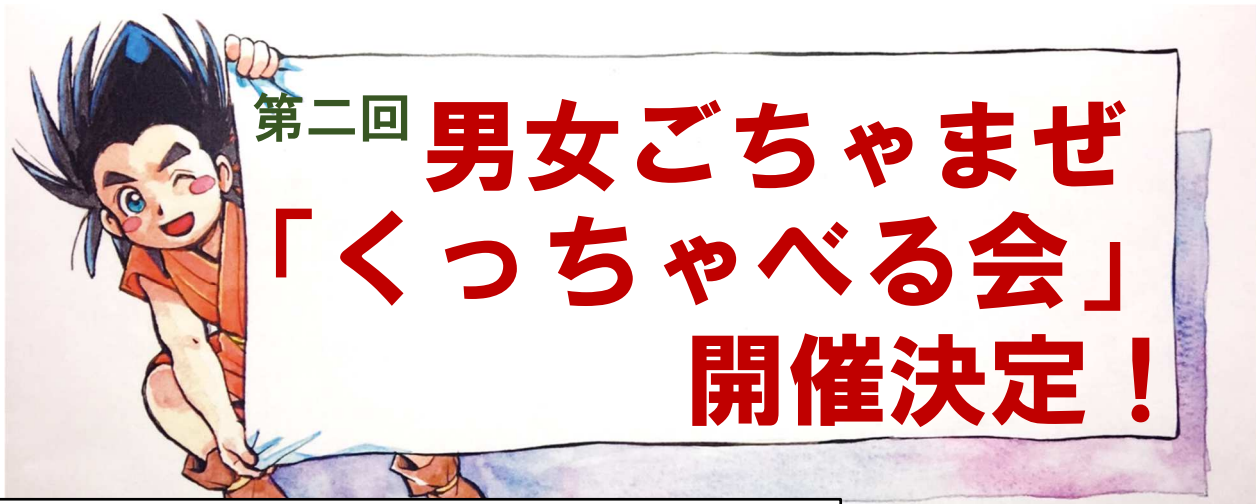




子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

事務局 048-0401 寿都郡寿都町字新栄町 101-6

TEL/FAX : 0136-62-3630

kakugomino@gmail.com

<http://kakugomi.no.coocan.jp/>

<https://www.facebook.com/106569234530018/>



No.20 2021年2月17日発行

【核のゴミの受け入れあり得る】

寒い毎日が続いています。皆さん、広報すっつの2月号をご覧になりましたか？ 片岡町長からのメッセージが折り込まれていましたよね。文献調査については、自分の発意であり、将来のまちづくりを皆で考えるきっかけにしたかった、ということです。そして、文献調査は最終処分場建設に直結するものではなく、これから皆で勉強していく段階だと言っています。

フィンランドの最終処分場の視察に行った小泉純一郎元総理の講演に出席すると言いながら、ドタキャンして勉強を拒否した片岡町長が勉強と言ってもなんの説得力もありません！

それどころか、2月1日の北海道新聞の記事をご覧になりましたか？ とんでもないニュースが載っていましたよ。**全国の市区町村に、核のゴミの最終処分場の受け入れについてアンケートをとったところ、回答のあった1469の自治体のうち、「受け入れあり得る」と答えたのは寿都と神恵内だけ！**「最終処分場に直結しない」「勉強の段階」と片岡町長は言いながら、将来的には受け入れがあり得ると考えているのです。

住民説明会で、町長は「これから全国で、文献調査に手を挙げるところがどんどん出てくる」と言いました。参加者から「それは失礼だろう」とブーイングがありましたが、「出たらどうする」とまで言いました。その後、たしかに神恵内が手を挙げましたが、結局は2町村のみです。いま原発を持っている自治体、中間貯蔵施設を持つ自治体なども最終処分場を受け入れるつもりはありません。

このまま黙っていると、なし崩し的に受け入れへの準備が整えられていきます。「寿都に核のゴミは絶対いらない」という声を上げ続けていきましょう。

道新 2021年(令和3年)2月1日(月曜日)
16版 総 合 2

核ごみ処分場の受け入れ可否

計 1469 自治体
80.9%
受け入れあり得る
13.9%
受け入れ不可
0.1%
無回答 5.1%

核ごみ処分場 全国自治体の8割否定的

受け入れあり得る「寿都・神恵内のみ」

原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場、全国の市区町村の約8割が処分場を受け入れないとの見方を示した。調査は、全国の市区町村の約8割が処分場を受け入れないとの見方を示した。調査は、全国の市区町村の約8割が処分場を受け入れないとの見方を示した。

共同通信のアンケートで分かった。最終処分場の建設は、成り立ちから20年を経て、昨年11月、処分場選定の入り口となす。調査は、全国の市区町村の約8割が処分場を受け入れないとの見方を示した。

都道府県別では、北海道は寿都町と神恵内町のみが「受け入れあり得る」と回答した。これは、全国的には受け入れ不可の自治体が多かった。

北陸電力が原発を立地する石川市は、原発は「国のエネルギー政策に貢献し、社会的責任は果たしている」と強調した上で、処分場を受け入れない考えを表明。愛知県豊田町も受け入れを否定しながら、文献調査の実施で国から数千万円の交付金が支払われることについて「財政力の脆弱な市町村からの受け入れ希望が増加する」との考えを示した。

住民説明や安全性を求める声は7割超

原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場を巡る自治体アンケートでは、処分場選定で特に重要だと見なす施策も聞き、住民説明や安全性を求める声は7割超に上った。

一方、地域振興を挙げたのは3割未満。現段階では、処分場建設の愚意や利点よりも、最終処分という政策そのものが地域に受け入れられるかどうかを重視していると言え。

1469の市区町村が複数回答で答えた。最も多かったのが「住民らの説明で73.9%はほぼ全てが国が責任を持つこと」が73.4%だった。核のごみの安全対策も72.7%に上

【選定プロセスから外れる方法なし？】

「文献調査から概要調査に進む際に、知事や当該市町村長が反対であれば、選定プロセスから外れる」と梶山経済産業大臣が文書を出していました。しかし、この外れるという言い方が曖昧でした。私たち町民の会も、昨年、勉強会の講師に来てくださった伴英幸先生や小野有五先生も、その言葉の定義のいい加減さを指摘してきたところですが、2月6日の北海道新聞が、**プロセスから完全に離脱する方法について、「法令で定めぬ」と閣議決定されたと報じました。**さらに、道新の取材に対して、経産省は、知事や町長が賛成に転じると、調査を再開させる可能性があると言っています。いったん文献調査を始めると、最終処分場候補として狙い続けるというので

国のこの姿勢をみると、これから先、私たちの町では、核のゴミ絶対反対という町長と議会を選び続けなくてはならないことが分かります。その覚悟を決めましょう。

5 総合小説 16版 2021年(令和3年)2月6日(土曜日) 北海道新聞

選定から離脱 明文化せず

処分場問題「法令で定めぬ」閣議決定

核のごみ
どこへ

政府は5日、原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場の選定プロセスから、文献調査が進む後志管内寿都町と神恵内村が完全離脱でき

るかどうかについて、**「反対意見の伝達手続きを法令で定める考えはない」とする答弁書を閣議決定した。**どうすれば離脱できるのか、具体的に明文化しないことで、選定のルールから逃れさせまいとする国の姿勢があらためて明確になった。立憲民主党の遠坂誠一氏の質問主意書に答えた。経産省は昨年11月、第2段階の概要調査に移行する場合の政府方針などを確認する鈴木直道知事の申し入れ書に対し、概要調査に進む際は「知事や当該市町村長が反対であれば選定プロセスから外れる」と明記した梶山弘志経産相との回答文書を適に送付した。ただ、経産省は北海道新聞の取材に対し、プロセスから外れた後でも、知事や市町村長の意向が賛成に変われば、概要調査に必要なデータがそろえば、調査を再開させる可能性もある(放射性廃棄物対策課)と説明している。

遠坂氏はプロセスから外れることの文言について、単に概要調査に進まないというだけでなく、「既に進められた手続きは撤回され、文献調査の対象地区でもなくなる」という意味かと尋ねた。これに対し答弁書は「(質問の)意味する

【議員報告会の開催あるか？】

前回のチラシ No19 で報告していた通り、町長に対して町政懇談会、議会に対して議員報告会の要請を行いました。議会からは、「2月9日開催の全員協議会以降、全議員で検討してまいります」ということです。はじめてのプラス回答です。しっかりと開催していただきましょう。

一方、町長に要望した町政懇談会については、「社会情勢や町民の皆様の要望を踏まえ、まちづくり懇談会の開催や、広報広聴活動等の展開について検討してまいります」ということです。また、「対話の場」に関して、種々のルールの要望を出しましたが、「選ばれた20人の対話の場」にて決めていくことになるという回答でした。

【「対話の場」とやらの実態は？】

道東の滝上町で、核のゴミの最終処分場についての勉強会が昨年10月に開かれました。それに出席した女性が先日、わざわざ寿都にまで来てくださいました。そして、NUMOがどんなやり方をしたのか、実態を教えてくださいました。

- ①参加者が5、6人のグループに分けて、討議をさせる。
- ②核のゴミや最終処分場の安全性に疑問を持つ意見を言うと、微妙に文言を変えて、模造紙に板書する。
- ③指摘すると、苦笑いしながら無視する。
- ④反対意見は、「とにかく無視」「スルー」「改変する」。

このようなやり方だったそうです。模造紙は、討議の証拠として残されるはずですが、それが改変されるのなら、討議の結果がねじまげられて形になるということを意味します。

寿都で行われる「対話の場」とやらも、同じ手法で来るのでしょうか。対抗策を考えていくつもりです。

【寿都人プロジェクト始まる】

核のゴミ問題に揺れる故郷を憂う漫画家、本庄敬さんとご友人の方々によって「寿都人（すつつびと）プロジェクト」が始まりました。

「Get up with a dream and move forward in hope! come on "SUTTSU BITO" Break through now!!」

「夢で立ち上がり、希望で前に進め！ さあ“寿都人”よ 今を打ち破れ！！」

と題して、寿都と寿都人を応援してくださっています。

T シャツ、ステッカー、マグカップなどを購入することができます。詳しくは、「寿都人プロジェクト」のホームページをご覧ください。<https://suttsu.official.ec/>



【いつも応援ありがとうございます】

町民の会を設立してから5か月がたちました。この間、さまざまなイベントや勉強会、チラシの作成・配布などを行ってきました。その資金は、町内、全道、全国の皆さんからのご寄付によるものです。

2021年2月9日現在で、おかげさまで、375名の方にご寄付を頂いております。イベント時などに、無記名のカンパもたくさん頂戴しました。先日も、八雲町の「八雲の未来を創造する会」から、町民の会を応援したいという署名238筆とカンパを頂きました。「全身全霊で応援し続けます！！」のお言葉に震えました。ありがたすぎて、こちらも全身全霊で頑張らなきゃという気持ちでいっぱいです！！

なお、本来なら、カンパを寄せてくださった全員にお礼の気持ちをお伝えしたいのですが、振り込みの場合はご住所がわかりません。会の中で「それはあの方だ！ 寿都に前にいた方だ！」「ありがでえなあ」などと共有させていただいております。領収書が必要な方につきましては、別途、事務局までご連絡いただければ、お届けいたします。また、会のチラシも同封させていただきます。皆さまの応援が私たちの力になります！ 引き続きよろしくお願い致します。

カンパの宛先は以下の通りです。

北海道銀行 寿都支店 店番号：304 普通預金 口座番号：0481374

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

ゆうちょ銀行 記号：19070 番号：44246811

普通預金 コドモタチニカクノゴミノナイスツヲ チョウミンノカイ

【9日の臨時議会にて】

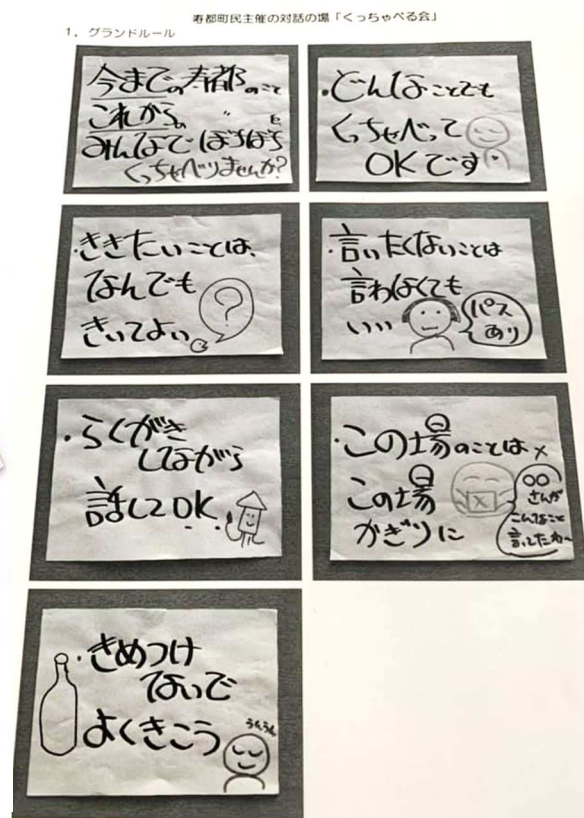
2月9日に臨時議会が開かれました。町民の会の会員も傍聴に行ってきました。1億円をこえる補正予算が決まりました。新栄町の旧法務局・測候所の庁舎を買い取り、1階を消防庁舎、2階を「移住促進センター」にするそうです。移住促進センターは、町外の若い人を対象に受け入れて、人口減少対策にすることを考えていると町側は説明しました。これに対して、沢村議員が「年金受給者であっても受け入れは可能ではないか」「核のゴミに関わって、NUMOの職員を受け入れるようなことがあれば、趣旨が違うのではないかと質問しましたが、肝心なことは、事前の全員協議会で説明されているようで、10分ほどで終わってしまいました。結局、全員協議会が非公開で、資料も見せてもらえないため、傍聴していても、議事の全容を把握することはできないということを痛感して帰ってきました。

【第二回「くっちゃべる会」やります】

1月に開催して、大好評を頂いた「くっちゃべる会」の第二弾を行います。今回は、男性大歓迎で、グランドルールに基づき、くっちゃべります。

今までの寿都のこと、これからの寿都のこと、みんなでぼちぼちくっちゃべりませんか？ 進行のお手伝いに、札幌の“かなでい”さん、伊達の“みっちゃん”さんが来てくれます。

ぜひご参加ください。



日時：2021年2月20日（土）18:30～

場所：道の駅みなとま～れ寿都

対象：18歳以上の寿都町内在住の男女

子連れOK。参加費無料。コロナ対策のため、マスク着用、検温、参加者名簿の記入に協力ください。

飲み物は各自でご持参ください。

お問合せ先：0136-75-7120 美容室ミリアン